

おらDoの協Do!

～人と人が集まり、出会いとつながりが
広がる中で生まれる「おもっせえ」おうち～

協働による地域・まちづくりを实践し、
人と人との出会いやつながりを生み出
している「おもっせえ」人や活動を紹
介します。みんなやっべし協働!

町内2地区で大運動会 競い楽しみ、絆を深める

～元気いっぱい吉里吉里大運動会・安渡地区大運動会～

10月1日(日)、曇り空にもかかわらず、吉里吉里地区と安渡地区で、参加者を応援する声と楽し気な笑い声が響き渡ります。この日、2つの地区で町民対抗の大運動会が行われました。

安渡地区では、昨年10月に12年ぶりとなる大運動会が行われ、今回が震災後2回目。当日は、子どもからお年寄りまで約150人が参加し、赤組と白組に分かれて競い合いました。参加者がボール2つをほつきで掃きながら走る競技「お掃除上手」や、風呂敷包みに野菜を入れて2人で運ぶ競技「収穫祭レース」など、一風変わった競技の数々に、会場を訪れた観客の皆さんから大きな声援と笑い声が選手たちに向けられました。

吉里吉里地区では50回の節目となった今回の大運動会。約350人が参加し、各自治会の旗を掲げて、正々堂々と競い合いました。浪板地区の住民も一緒に参加し、運動会でお馴染みの

競技「パン食い競争」「玉入れ」「綱引き」のほか、夫婦の絆が試される競技「夫婦船」などが行われ、参加者は楽しみながら競い合い、会場はたくさんの方の声援に包まれました。

2つの大運動会では、地区出身者に限らず、外国人技能実習生や大槌高校生なども参加して会場を大いに盛り上げました。4回目の吉里吉里大運動会の参加となった前田建設工業株式会社東北支店の榎博史（まほろふみ）さんは「変わらない雰囲気の中で、子どもからお年寄りまで楽しめる運動会だと感じました。このようなイベントは、他の地域ではなかなか見られない」と語り、地区の絆の強さを実感していました。

毎年恒例として行われてきた大運動会。多くの住民が集まり、同じ目標に一丸となって取り組むこの行事が、地区の絆を深めるきっかけの一つとして定着していることが実感できる1日でした。



魚のさばき方講座

自分で釣った魚をさばいて家族に食べさせたい! もっと手早く、きれいに魚をさばきたい! ご近所さんから新鮮な魚をもらったけど、どうしよう...

そんなあなたに、ご家庭でもできる簡単な魚の下ごしらえのコツを教えます! 1回目のお題は「アジ」です。

日時 11月18日(土) 13:00～15:00

場所 大槌町中央公民館 調理室

定員 8名 ※要予約、親子参加もOK

参加費 500円(魚2匹) **講師** 河合秀保さん(河合商店)

☎ 大槌町中央公民館 **TEL** 0193-42-3030